

活動報告：関西観光教育コンソーシアム 学生生活動成果発表会

日 時：平成26年9月10日（木） 14:00～19:00

会 場：阪南大学 あべのハルカスキャンパス

主 催：関西観光教育コンソーシアム

発表者：大阪商業大学総合経営学部 宮城ゼミナール 久保昇平 深井順矢

内 容：

平成26年9月10日木曜日に阪南大学 あべのハルカスキャンパスで行われた「関西観光教育コンソーシアム 学生生活動成果発表会」に参加しました。

ここでは、それぞれの大学が観光に関する研究・活動内容を「観光・旅行業や旅館・ホテル」といった企業の方々の前で発表をおこないました。

プログラムとテーマは下記のとおりです。

図表 1、学生プレゼンテーションプログラム

大手前大学	「知る」→「行く」→「学ぶ」
神戸海星女子学院大学	英語と観光を学ぶ
京都文教大学	地域連携を通して学ぶ、観光とまちおこし ー地域連携学生プロジェクト「宇治☆茶レンジャー」の取り組み
プール学院大学	観光まちづくりインターンシップ活動報告
神戸夙川学院大学	朝の森林浴散歩の実践報告 ～ポートピアホテルにて～ 観光文化学特別演習での学び
大阪観光大学	サブカルチャー・ツーリズム
立命館大学	企業間取引における約款の拘束力について～民法的視点から～
四天王寺大学	観光ゼミ1期生の活動内容～目標と成果～
大阪商業大学	大阪商業大学 宮城ゼミナール活動報告
和歌山大学	和歌山大学 廣岡ゼミ 活動記録
阪南大学	阪南大学 国際観光学部 松村嘉久研究室 2014年活動経過報告

私たちは、大阪商業大学宮城ゼミナールの活動報告という形で大阪商業大学の経営理念・目的やフィールドワークゼミナールの魅力と宮城ゼミナール3回生の活動内容について発表しました。

図表2、発表風景

大阪商業大学の経営理念や建学の理念と大学の使命・目的を説明し、大阪商業大学の魅力といえるフィールドワークについての説明を行いました。

私たちが所属する宮城ゼミナールでは、『フィールドワークによるホテル・旅館と地域の連携』を大きなテーマとして活動し、宿泊業の現状分析や魅力向上の方法、地域活性化策について学んでいます。



次に3回生の活動内容として「有馬温泉の観光・宿泊業における観光客の動向」と「有馬温泉街を訪れる高齢者における観光動向並びに需要拡大」について2グループに分かれて研究していることを発表しました。

それぞれの大学の学生の観光に関する研究・活動内容を聞いて、1番印象に残ったのは、阪南大学 国際観光学部 松村嘉久研究室の研究である西成アート回廊プロジェクトです。それは、西成区へ内外から人を呼び込む社会的注視を集めることを目的として、鉄道の高架壁面や高架下通路の落書きを消す一方で、綺麗な壁画を描こうという企画からはじまり、現在は、様々な企業の方々と地域全体が絡んだプロジェクトになっているそうです。

他の大学の発表を聞くなかで、私たちと比べ、発表の仕方やプレゼンテーション能力の違いを感じ、多くのことを学ぶことができました。また発表会の後には、交流会があり、今まで出会ったり、話す機会がなかった企業の人や他の大学の教員の方々と話をすることができ、参考になる話を聞くことができました。今まで経験したことがなかった、名刺交換、学生同士での交流などを行い、普段の学生生活では知りえなかったことを体験でき、とても有意義な時を過ごすことができました。

この経験を活かして、これからも宿泊業の分析と課題解決を図るべくアンケート・インタビュー調査を活発的に行い、また発表の場を広げ「宿泊業の魅力向上や旅館の集客拡大」を目標として活動していきたいです。